

リハビリテーションだより  
回復期リハビリテーション病棟

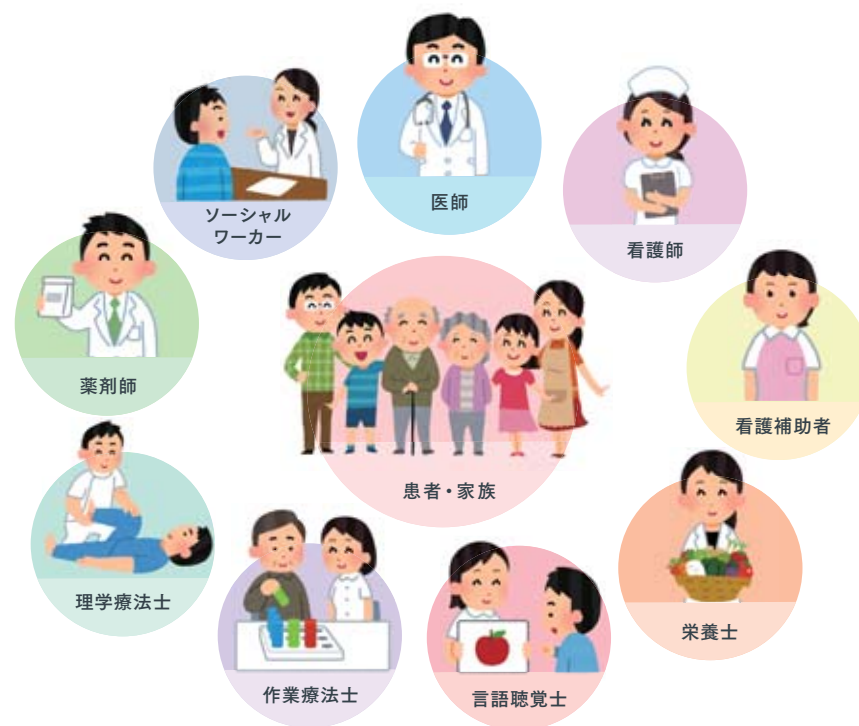
みなさんは「回復期リハビリテーション病棟」(以下回復期病棟)と聞いてどんな病棟を想像しますか?今回は回復期病棟での取り組みを紹介したいと思います。

回復期病棟とは脳卒中や大腿骨頸部骨折・圧迫骨折などの骨折のため、急性期の治療を受けた後、自宅復帰に向けて集中的なリハビリテーション(以下リハビリ)を行う病棟のことです。

特徴として、

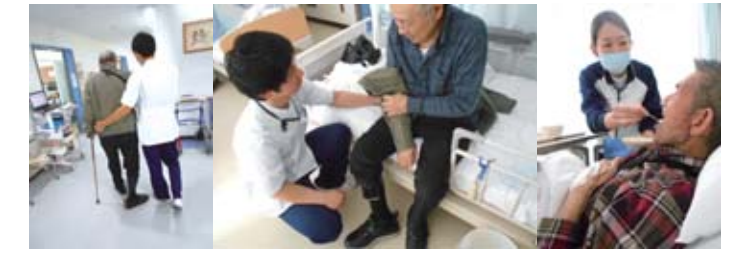
- 1 脳卒中(脳出血や脳梗塞など)や骨折(大腿骨頸部骨折・圧迫骨折など)回復期に入院できる病気やケガが決まっていること。
- 2 「365日毎日リハビリがあること。」が大きな特徴です。

当院回復期病棟でもリハビリ専任医や看護師、リハビリスタッフ(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)、相談員(MSW)、栄養士などのスタッフが勤務し、患者さん・家族と共にひとつのチームとなってリハビリに取り組んでいます。



リハビリ

回復期病棟では365日毎日リハビリを行っています!リハビリ内容は様々!!理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそれぞれの得意分野を活かし患者さんに合わせてリハビリプランを組み立てます!



歩行訓練 ADL訓練 嚥下訓練

関節を動かす練習や筋力訓練、歩行練習、食事やトイレ、入浴動作など朝起きてから夜寝るまでに行う日常生活の動作練習を中心に行います。それ以外にも、調理などの家事動作練習や職場復帰に向けて畑仕事やパソコンの練習なども行ったりします。

退院前、退院時訪問

入院中から自宅の環境に合わせてリハビリが行えるよう「家屋調査」を実施しています。リハビリスタッフ、介護支援専門員(ケアマネージャー)が患者さん・ご家族と一緒に自宅へ伺い、動作確認や家屋内外の手すり設置などの住宅改修の提案を行うものです。



また、「手すりを付けただけで実際に家に帰ってから不安・・・」という患者さんには退院時にもご自宅にお邪魔し動作確認や介助方法のアドバイスをしています!

カンファレンス

毎月1回患者さん・ご家族、病院の担当スタッフが集まり話し合いをしています!ここでは、退院に向けて患者さんやご家族の意向を確認し目標を決定します!その目標に向けて何をやるべきか、どういう準備をする必要があるかをみんなで話し合います。



家族指導

退院後も皆さんには様々な不安や疑問があると思います。また、実際に介助してみたら病院の人達がやっているみたいに全然できない!なんて声も実際に聞かれます!そのため、退院後も安心してご自宅で生活が送れるよう入院中からリハビリスタッフや看護師が実際に介助方法の指導や生活上のアドバイスをサポートを行います。



当院では退院後も皆様のサポートが継続できるよう通所リハビリや訪問リハビリ、介護予防事業を行っています。私達はリハビリテーションを通じて三角、大矢野地域のみなさんが心も体も健康的に安心して生活できる地域づくりを目標にこれからもサポートをしていきます!なにかお困りのことなどございましたらいつでもご相談ください!